

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年1月10日(2025.1.10)

【公開番号】特開2024-117123(P2024-117123A)

【公開日】令和6年8月29日(2024.8.29)

【年通号数】公開公報(特許)2024-162

【出願番号】特願2023-23027(P2023-23027)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 5 0

A 6 3 F 5/04 6 0 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和6年12月26日(2024.12.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

有利度が異なる複数の設定値を有し、

複数の設定値のうち最も有利度が高い第1設定値を有し、

第1設定値であるときにのみ実行可能な第1設定値報知演出を有し、

第1条件を満たすと第1の第1設定値報知演出を実行可能であり、

第2条件を満たすと第2の第1設定値報知演出を実行可能であり、

第1設定値であるときに、「第1の第1設定値報知演出を実行する確率」×「第2の第

30

1設定値報知演出を実行する確率」で求められる値の分子を1としたときの分母が、10

000未満となっている

遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、

有利度が異なる複数の設定値を有し、

40

複数の設定値のうち最も有利度が高い第1設定値を有し、

第1設定値であるときにのみ実行可能な第1設定値報知演出を有し、

第1条件を満たすと第1の第1設定値報知演出を実行可能であり、

第2条件を満たすと第2の第1設定値報知演出を実行可能であり、

第1設定値であるときに、「第1の第1設定値報知演出を実行する確率」×「第2の第

50

1設定値報知演出を実行する確率」で求められる値の分子を1としたときの分母が、10

000未満となっている

遊技機である。

また、本発明は、

メイン制御手段は、設定値が記憶可能な第1設定値記憶領域を有し、

サブ制御手段は、設定値が記憶可能な第2設定値記憶領域を有し、  
第1設定値記憶領域は設定変更に伴う初期化処理にて初期化可能であるよう構成されており、  
第2設定値記憶領域は設定変更に伴う初期化処理にて初期化されないように構成されており、  
第1設定値である状況で設定変更が実行され、第1設定値よりも出玉率の高い第2設定値に変更された場合、第2設定値である状況で実行された遊技において、現在の設定値が前回の設定値よりも出玉率の高い設定値であることを遊技者が認識可能である第1設定値確定演出が実行可能である  
遊技機であってもよい。

10

20

30

40

50